

オリーブの会通信

2017年8月1日

発行：特定非営利活動法人KHJ 香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olve.com/> (隔月発行移行後14号)



猛暑の日々が続いています但皆様ご健康に十分お気をつけ今夏を元気に乗り切つて下さるよう
にお願いします。

今年度新たに高松市から受託した「ひきこもり当事者傾聴サロン」と2年目となる「ひきこも
り相談窓口」は担当いただいている皆様のたゆまぬ研鑽とご尽力によって対応件数はじめ順調に
推移しています。担当者には当会会員以外のひきこもりサポーターも加わつておられることから
外部からの貴重な情報をいただいたり、互いの経験等を語る中で相互の学びができるなど予期し
ない効果が生まれている感があります。

近年当会の運営上貴重な資金源となつてきた各種助成財団等からの助成金は、ここしばらく申
請の効なく助成が得られない状態が続いています。今後も申請先の調査を含め助成を目指して努
力を続けますが、会員の皆様で会費の支払が未完の方は財政の最大のベースである会費の支払を
早期に完了いただく様お願いします。

お知らせ

1. 去る6月25日開催されたKHJ本部総会・全国支部長会議(東京)に平野代表理事が出席
しました。
2. 去る7月16日開催された「KHJ徳島つばめの会14周年記念講演会」(講師：元立命館大
学大学院教授 高垣忠一郎氏)には、当会からポパイの会メンバー4名を含む計10名が出席し
ました。四国内KHJの4つの会は長くブロック内交流を継続推進してきましたが、この様な
形で相互の研修案内・参加と地に足が着いた形で結実していることは極めて喜ばしいこと
です。
3. 9月5日(火)14:00~16:30 「ひきこもりをより理解する精神症状のハナシ」と題し
京都ノートルダム女子大学教授河瀬 雅紀教授による講演会の開催 場所：高松市林町 2217
番地19「香川県立文書館2階視聴覚ホール」(香川県立図書館に併設)、入場無料、主催者(参
加申込受付)：県精神保健福祉センター(087-804-5565)
4. 第12回KHJ全国大会は10月28日(土)29日(日)、東京大田区産業プラザ&明治大学
で開催されます。一昨年、香川で開催した全国大会の東京大会にみなさまのご参加をお勧め
します。詳しくは役員に問い合わせるかHP(<http://www.khj-h.com/taikai2017.html>)を
ご参照ください。

5. 本年 12 月 5 (火) 「ひきこもり女子会」が初めて高松で開催されます。(会場：サンポートホール高松)

主催団体は今年 1 月の当会月例会の講師、林 恭子氏が主宰する団体ですが、中国・四国・関西の一部地域を対象エリアにして高松市を開催地として選定されましたので当会も広報活動はじめ依頼された事項を中心にできる限り協力をしていくこととしました。

男性の当事者の多い会や活動の場に出ていくことを好まない女性に焦点を合わせ、生きづらさを覚える女性だけの集会であり、東京で開かれる毎月の会には全国の遠隔地からも多数の参加者が集っており京都をはじめ全国に活動拠点の開設が広がりつつあります。

6. 今年度の「ひきこもりサポーターフォローアップ研修」が下記の通り 3 回に亘り実施されます。(ひきこもりサポーター登録者の皆様には個別に「案内状」が発送されます。)

なお、香川県オリーブの会会員は希望すれば特別に聴講ができることとなっています。

- ・第 1 回 9 月 17 日 (日) 香川県社会福祉総合センター 7 階 (第 2 中会議室)
- ・第 2 回 11 月 3 日 (金・祝日) 香川県社会福祉総合センター 6 階 (第 1、2 研修室)
- ・第 3 回 2018 年 1 月 21 日 (日) 香川県社会福祉総合センター 6 階 (第 1、2 研修室)

第 182 回月例会ご案内

日 時	2017 年 8 月 27 日 (日) 13:30~16:30 (受付: 13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2 階 AV 室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel: 087-867-7686
内 容	<p>★一部</p> <p>13:30~ 会からの諸報告</p> <p>13:35~ DVD鑑賞</p> <p style="text-align: center;">タイトル: 「我が子がひきこもったとき」</p> <p style="text-align: center;">— 家族の役割と支援 —</p> <p style="text-align: center;">(NHK 厚生文化事業団が今年 4 月に製作)</p> <p style="text-align: center;">・ DVD 制作の監修者</p> <p style="text-align: center;">精神科医 中垣内 正和氏 精神科医 齋藤 環氏</p> <p>15:00~ 休憩</p> <p>★二部</p> <p>15:15~16:30 グループ別 話し合い</p>

参加費	会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円
-----	--------------------------

第183回月例会ご案内

日時	2017年9月24日（日）13:30～16:30（受付：13:00～）
場所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1研修室 〒761-8057 高松市田村町1114番地 Tel：087-867-7686
内容	<p>☆一部 13:30～ 会からの諸報告 13:35～ DVD鑑賞 タイトル：「あなたは一人じゃない」 — 様々な支援の形・地域編 — (NHK厚生文化事業団が今年4月に制作) ・DVD制作の監修者 精神科医 中垣内 正和氏 精神科医 齋藤 環氏</p> <p>15:00～15:15 休憩</p> <p>☆二部 15:15～16:30 グループ別話し合い</p>
参加費	会員1家族：1,000円 会員以外：1,500円

*現在、ひきこもりに理解のある精神科の医師と講演依頼の交渉中でありタイミングが合えば9月例会の内容が変更となる場合もありますのでご承知をお願いします。

第181回月例会（7月23日）の概要

- ◎ 丸岡理事の司会で進行し冒頭、松本代表理事から会の現状報告と合わせ行政機関・関連団体等が行う各種研修会や講演会の紹介、「第12回KHJ全国大会 in 東京」への参加の勧めなどがなされた。



講演内容の一部を紹介（著書による補完部分あり）—13：35～15：00—

演題：「輝ける闇」

講師：山田 孝明氏 （京都オレンジ家族の会世話人代表）

山田氏は1953年（S28年）に名古屋市にお生まれになりました。

小学校4年生の時母親は自分が乳がんであることを告げやがて入院、兄は母の入院先の付添となり、姉と氏は当時「孤児院」呼ばれていた施設へ入所するという経験をした。その後歳月を経大学を卒業後学習塾で仕事を始めやがて事務局長に、結婚もして「生きていく」ことに自信をもつことができた。

ひきこもりに関係するようになって随分長くなったが、名古屋をはじめ家族会のオレンジの会は私が始めた会であり、全国にKHJの会を次々に創設する働きを推進した故、奥山会長に草創期に出会いKHJ全国家族会の設立に参画した。

今から4年前60歳になった時、これまでの「ひきこもり」への取り組みに一区切りをつけ石垣島に行った。

そこで色々考えさせられ気付かされたことは、元ひきこもり当事者も様々に活躍するようになり、大学の先生はじめがカウンセリングなどを通しての経験を基に色々な立場でひきこもりの問題に関して話をされているが、その多くはひきこりの方々が語りたい経験や苦悩を語ったことを基にしているのであって、ひきこもり当事者には実は語りたくない苦悩や、思い出さたくない記憶があるということである。また各家庭にある語りたくない苦悩や労苦は訪問した家庭の現場にあるのである。

このことは、約250件位のひきこもり訪問の経験を重ねて気付かされたということができる。

—この後、山田氏が訪問し関わり大きく変化が生じた事例として3例を紹介された。—

事例① 15年間一度も家族が当事者を見たことも話したこともない両親70歳代、当事者40歳が近かったケース

事例② 父子家庭で4年前から昼でも暗くした部屋でひきこもり、精神科医、臨床心理士、介護士等医療関係者が訪問を繰り返しているが改善が見られなかった29歳の当事者のケース

事例③ 人（親はじめ直ぐその先に仕事を考えているひと）に関わりたくないと考えている当事者を石垣島に誘い実現したケース

・今のひきこもり当事者の多くは両親が70歳代前後、団塊世代に代表される厳しい競争にさらされた両親を持つ子どもたちで、受験競争の揚句に入学した大学をやっとの思いで卒業した時には就職氷河期で望ましい仕事はなく派遣労働しか選択肢はないなど厳しい仕事環境で傷ついた者も少なくない。

- ・今から 25 年程前にはひきこもり当事者年齢は 10 代後半、20 代が多くを占め、今の時代が当面しているひきこもり当事者年齢 40 代、50 代問題は、全く未知数でこれからの課題であり何も道筋はない。

—講演終了後質疑の時間がとられ活発な質疑がありました。—

◎ グループ別話し合い

今回は、3 グループに分かれて講演内容についての意見や当面する家族の課題などを互いに話し合いました。

講師の山田氏は、各グループの輪に順次入れお得意のトランプによるマジックによって場を和ませるとともに質問にも答えて頂きました。

—月例会を終えて—

今回の例会の特徴としては、ポパイのメンバーが多く 8 名、初参加の当事者の親 1 名、公的機関のひきこもり担当者、KHJ 徳島県「つばめの会」から各 1 名のご出席があり出席者総数は講師を加え計 28 名であった。

【2017 年 8 月以降の各会等の予定】

(相談窓口・傾聴サロン)

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 (来所相談も可) ※先ずは ☎ 087-802-2567 をお待ちしております — 第 5 土曜日は全て休みです —	8	5、12 19、26	土	9 : 00~16 : 00	泉・川井ほか
	9	2、9 16、23	土	9 : 00~16 : 00	泉・川井ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先 : ☎ 087-802-2567 — 第 1・3 土曜日に行います —	8	5、19	土	13 : 00~16 : 00	サポーター登 録者・平野
	9	2、16	土	13 : 00~16 : 00	サポーター登 録者・平野

(理事会・運営委員会等)

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第 6 回運営委員会、	8	19	土	13 : 30~16 : 30	
第 7 回運営委員会	9	16	土	13 : 30~16 : 30	
第 8 回運営委員会	10	21	土	13 : 30~16 : 30	
第 9 回運営委員会	11	18	土	13 : 30~16 : 30	

*ポパイの会（居場所活動）予定は、別途印刷の同封のパンフをご活用ください。

以上